

公益財団法人 日本財団 御中

葛西臨海たんけん隊による
「学校教育と連携した海洋教育実施」
江戸川区科学教育センター講演会実施報告書

一般社団法人 葛西臨海・環境教育フォーラム事務局作成
2013年11月9日実施

実施概要

■講師:石丸隆

一般社団法人 葛西臨海・環境教育フォーラム理事・東京海洋大学名誉教授

■実施日時:平成25年11月9日(土)14時～15時30分

■開催場所:江戸川区立小松川区民館ホール(東京都江戸川区平井)

■主催:

一般社団法人 葛西臨海・環境教育フォーラム

江戸川区科学教育センター

■特別協賛:株式会社ロッテ

■助成:日本財団

■募集人数:120名

■参加者数:総計110名(内訳:生徒84名、教員17名、保護者6名、一般3名)

当日の次第

プログラム	担当	進行
ガイダンス	川崎純一先生 (東葛西中学校校長)	14:00
センター挨拶	宇田川功先生 (科学教育センター担当 松江第一中校長、東京都中学校理科教育研究会会長)	14:02
挨拶	宮嶋隆行 (葛西臨海・環境教育フォーラム)	14:08
講義(前半)	石丸隆	14:10
	1 放射性物質と放射線 2 身の回りの放射線 3 放射線の人体影響 4 放射性物質の利用、そのメリットとデメリット 質問	14:10 ~14:40
実験	石丸(インターンが補助)	14:45
	サーベイメータにより放射線はどこにでもあることを示す。 標準線源を使って、距離の効果や遮蔽効果などについて説明する	~15:00
講義(後半)	石丸	15:05
	5. 福島第一原発事故による放射性物質の拡散 6. 海洋の生態系への移行 7. 水産物の汚染の現状 質問	~15:30
最後の言葉	川崎先生	15:40 ~15:45

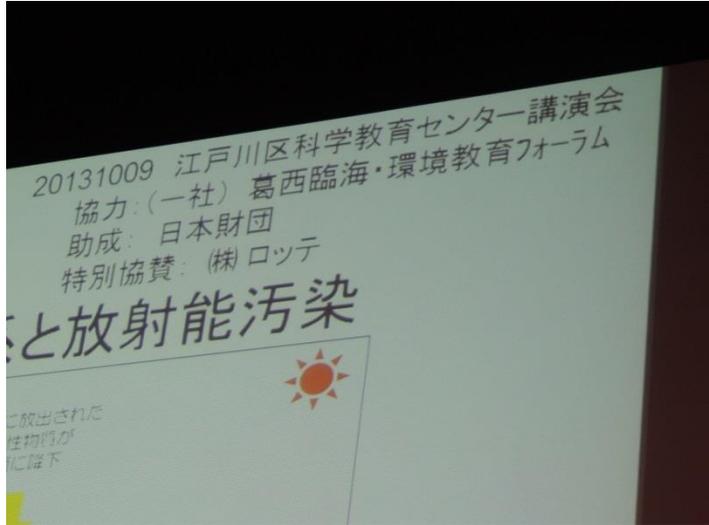
江戸川区科学教育センターとは

平成25年度の活動予定(全15回)

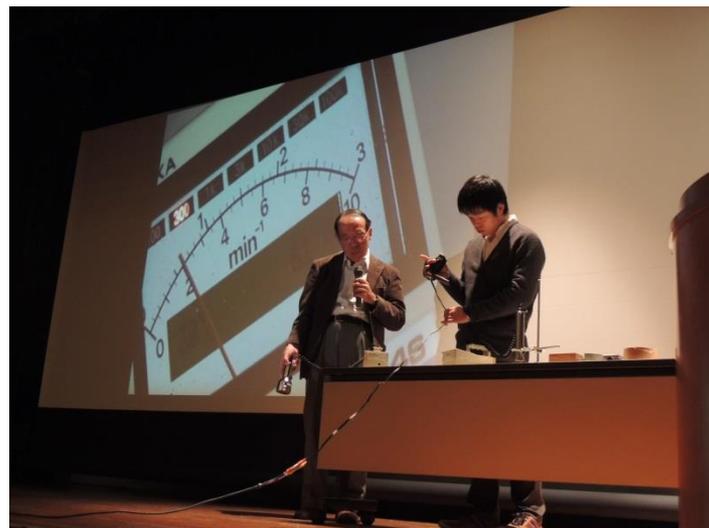
- 主旨:江戸川区教育委員会が主催する学校教育プログラムの延長として位置づけられる中学生を対象とした教育制度。
- 実施期間:毎年6月～翌年2月土曜日の午前10時から2時間程度で活動。全15回。
- 定員:区内に5つの「センター校」を設け、各センター40名程度の定員で実施。

回	内 容		
1	開室式	開室式	開室式
	基礎講座	化石のレプリカ	浮沈子
2	基礎講座	音と波	放射線
3	基礎講座	低温の世界	虹について
4	見学会☆		
5	基礎講座	DNA抽出	電池
6	基礎講座	ミツバチの観察	結晶づくり
7	基礎講座	マウスの解剖	プラスチックについて
8	基礎講座	哺乳類の内臓観察	気球の製作
9	講演会☆	※今回のプログラム	
10	自由研究	テーマ決め	テーマ決め
11	基礎講座	野鳥観察	万華鏡
12	自由研究	研究	
13	自由研究	研究	
14	自由研究	まとめ	
15	自由研究	発表準備・練習	
16	発表会	発表会	
	閉室式	閉室式	

講義風景



サーベイメーターによる実演



開場からの質問とお礼の言葉

